

あっちっち、お茶碗注意報！

キムシンヒョン
太宰府市国際交流員 金辛泓

韓国のスプーンと箸がステンレスでできていることはよく知られています。また、韓国の食堂では、ステンレスの「お茶碗」を使っているのをよく見かけます。店員が何気なく持ってくるので、油断してそのまま触って、熱すぎてびっくりする日本の観光客が多いという情報を聞いたことがあります。本当に熱いので、おしぼりでふたを開けるか、ちょっと冷ましてから開けることをお勧めします。

韓国ではどうして多くのお茶碗がステンレス製なのでしょう。理由は簡単で、規定によるものです。1960年代以降、米不足で困っていた韓国政府が米の消費量を減らすため、1976年にソウルのすべての食堂に対して、規格のステンレス製茶碗以外にご飯を入れてはいけないと義務付けました。最初はソウル市だけでしたが、1981年には全国的に義務化され、規定がなくなった現在も慣習的に使われているのです。

ステンレス製茶碗は食堂にとっても管理しやすく、コストが削減できて便利です。

韓国ではご飯を先にお茶碗に入れてから保温器の中に保管し、注文が入ると、その中から取り出して提供するお店がほとんどです。この方式ができたのも、ステンレス製茶碗の優れた耐久性と熱伝導性のおかげです。こうした理由で、ご飯はもちろんお茶碗まで、とても熱い状態で提供されます。



冷ましてからふたを開けましょう

人権標語

人と自分

ちがうところも

いいところ

おかもと ののか
太宰府小5年 岡本 野々花さん
(応募時)

季節の生け花

太宰府市華道連盟

はぎ お けい こ
萩尾 慶子

(筑紫野市) 小原 亮

花材 ヒマワリ、ガーベラ、アレカヤシ、ソリダコ

つれづれ

太宰府短歌会

株分けてくれにし人も今はなく
偲びつつ手入す観音竹を

朱雀 黒木 邦枝

塩漬けの八重桜にぎり食せれば
風情も味わう季節の一品

通古賀 詫摩 典子

Gジャンのネイビーカラーの女子達と
交差点渡る杖つきながら

福岡市 竹森 祐彦

赤と青が混ざりゆくうち紫に
きのふの薔薇の棘の痛みよ

糟屋郡 仲道 朋子

思川ほとりの桜を愛でながら
散りくる花びらうけるは楽し

東ヶ丘 西木ミヤ子

太宰府俳句会

持永 真理子 選

老木の五粒の実梅いかにせん

馬場 有岡 和砂

村起す一助とも聞く麦の秋

東観世 中島 祝乃

旧邸の初夏の床の間久女の句

連歌屋 吉嗣のり子

街並みに溶け込む景色花水木

高雄 西元 治雄

越して来し三人家族花水木

大野城市 岡井 由里

飛梅句会

介弘 紀子 選

夏めきて木の香に沈む樹海かな

福岡市 工藤 友子

薔薇園を出て軽やかな風にあふ

朝倉市 古賀 紀子

江戸切子水割きさらり夏兆す

大野城市 田代りえ子

青空は淋しがりやをりしやばん玉

朝倉市 鶴田 ゆき

薔薇アーチ潜り新装ケーキ店

長浦台 徳賀美智子

宝満句会

菅井 久美子 選

芍薬の風脱ぐやうに散り初むる

高雄台 川路 泰子

逆上り出来たと笑顔初夏の風

大佐野台 金丸 恵子

潮騒の高鳴る初夏の島巡り

星ヶ丘 江里口幸生

芍薬に昨夜の風雨は強すぎし

青葉台 本山 晴子

白々と卵の花淡く闇に浮く

青葉台 平野 香

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選

かき混ぜるサラダボウルに青嵐

小郡市 貞金 志帆

芍薬の白より白き白はなし

福岡市 北川朴洋子

過疎の村対岸結ぶ鯉のぼり

筑紫野市 日永田忠孝子

笑う山四角く隠す大病院

福岡市 宮津英里子

草千里鳴らしてゆけり青嵐

青葉台 彦坂 正幸

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選

サプライズ人事が変えた社の空気

星ヶ丘 武末 次生

替え歌を謎の気球に聞かれたよ

筑紫野市 坂本やよ子

人生は進む断る引く勇氣

大野城市 高果富美子

閉店へ拾う思い出数知れず

国分 岸本しずえ

石橋を叩くばかりで足が出ず

五条 安枝 昭雄